▼デムサーカプセル　［内］

【重要度】★【透析患者に投与禁忌】　【一般製剤名】メチロシン　Metirosine　【分類】チロシン水酸化酵素阻害剤
【単位】▼250mg/錠
【常用量】500mg/日から開始
■効果不十分な場合：3 日間以上の間隔をおいて 1 日 250mg 又は 500mg ずつ漸増
■最大 4000mg/日
■4 日間以上休薬した後，再開する場合は 1 日 500mg 以下から開始
【用法】1 日 2～4 回（投与間隔 4 時間以上）■交感神経受容体遮断薬と併用して使用
【透析患者への投与方法】eGFR＜30mL/min：禁忌［使用経験がないため］(1)
【保存期 CKD 患者への投与方法】eGFR 30～59mL/min：3 日以上の間隔をおいて 1 日 250mg ずつ漸増するなど慎重投与（1）eGFR＜30mL/min：禁忌［使用経験がないため］(1) 中等度腎障害患者で AUC1.4 倍（1）
【特徴】褐色細胞腫のカテコールアミン分泌過剰状態の改善に用いられるチロシン水酸化酵素阻害剤.
【主な副作用･毒性】傾眠，鎮静，嘔吐，体重増加，精神障害，錐体外路障害，下痢，結晶尿など
【安全性に関する情報】結晶尿生成のおそれあり，水分摂取励行（1）
【F】70%以上と推測（1）
【tmax】1.25～2hr（1）
【代謝】一部がαメチルドーパ，αメチルドーパミンに代謝され尿中排泄（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 74～91%［po，36hr まで］(1)
【CL/F】4.8L/hr［po］(1)
【t1/2】9hr（1）
【蛋白結合率】0.5～1.2%（1）
【Vd/F】66～82L/man（1）
【MW】195.22
【透析性】資料なし（1）除去されやすいと思われる（5）
【O/W 係数】LogP=-1.7（1）
【相互作用】CYP，トランスポータの基質でなく，阻害剤でない（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20250513

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。